

インターネットサイトによる効果的な HIV 検査情報の発信と その有効活用に関する研究

研究分担者 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者 近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)
土屋 菜歩 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)
須藤 弘二 (株式会社ハナ・メディテック)
星野 慎二 (特定非営利活動法人 SHIP)
井戸田一朗 (しらかば診療所)
清水 茂徳 (東日本国際大学)
生島 嗣 (特定非営利活動法人 ふれいす東京)
岩橋 恒太 (特定非営利活動法人 akta)
堅多 敦子 (東京都立駒込病院)
杉浦 太一 (株式会社 cinra)
今井 光信 (田園調布学園大学)
加藤 眞吾 (株式会社ハナ・メディテック)
市川 誠一 (人間環境大学)
白阪 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
今村 顕史 (東京都立駒込病院)

研究要旨

インターネットを介して保健所等の HIV 検査相談施設情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行った。本サイトの情報提供の効果を調査するため、アクセスアナライザーでの利用状況の解析および保健所等 HIV 検査担当者へのアンケート調査を行った。また、本年度も新型コロナウイルス感染症流行に伴う緊急事態宣言発令により保健所等 HIV 検査の中止・縮小が相次いだことから、検査の事業縮小に伴う影響等を調査した。

2021 年の年間サイトアクセス数は 104 万件であり、前年と比較して 29%減となった。その要因としては、2020 年 1 月以降の新型コロナウイルス感染症流行が 2021 年も継続し、2 度の緊急事態宣言が発令されたことから、報道が新型コロナウイルス感染症関連のニュースで占められ、国民の HIV/エイズへの関心が低下したことが考えられた。2021 年の保健所等 HIV 検査の中止・縮小割合は、首都圏 1 都 3 県と東海ブロックにおいては 2021 年 9 月末で自治体の約 7 割、HIV 検査施設の約 6 割となり、2020 年 5 月末の中止・縮小割合に次いで高かった。

当サイトへのアクセス方法は検索エンジン経由が 82%、直接アクセスが 14%であった。2021 年に検索エンジンで当サイトにアクセスする際に多く使用された検索用語は「性病 症状」、「エイズ」、「HIV 検査」、「HIV」、「エイズとは」の順で、これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.9~4.9 であった。サイトコンテンツのページビュー数は「これって、性感染症?」、「「HIV・エイズって何?」、「トップページ」の順で多く、2021 年は梅毒感染者数が増加に転じて梅毒報道が多くなり、また、政府広告にもリンクされたことにより、性感染症情報ページ閲覧数が増加したと思われる。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、当サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 87%、特設検査施設で 93%、新型コロナウイルス感染症による HIV 検査日程の変更・中止について当サイトに修正依頼をした担当者は保健所で 20%、特設検査施設で 57%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 66%、特設検査施設で 93%であった。保健所担当者は当サイトを閲覧したことはあるが、新型コロナウイルス感染症対応により HIV 検査中止等の連絡が難しかったと思われた。このような事態の際には、運営側が自主的に自治体 HIV 関連サイト等で HIV 検査情報を収集し、修正作業を行う必要性が示唆された。

2001 年に HIV 検査研究班の公式サイトとして開設以来、2021 年末までに合計 2,550 万件のアクセスがあった。当サイトは保健所等 HIV 検査相談施設の情報を多く紹介しており、自治体の HIV/エイズ情報サイト、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレットなど多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で信頼される HIV 検査情報を提供していくとともに、HIV/エイズの理解促進と、検査希望者の受検アクセス向上に寄与したい。

A.研究目的

インターネットを介して保健所等HIV検査相談施設の検査情報やHIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、検査希望者への情報提供と受検サポート、HIV/エイズの理解促進を目的としたウェブサイト「HIV検査・相談マップ」

(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行うとともに、そのアクセス状況の解析結果から受検希望者の動向調査を行った。また、本サイトの情報提供効果を調査するため、アクセス解析や保健所等職員へのアンケート調査を行い、当サイトが有効利用されているかを評価した。2020年1月の新型コロナウイルス感染症流行以降、本年度も流行が継続しており、保健所等 HIV検査の中止・縮小が相次いだことから、検査の事業縮小に伴う影響等も調査した。

B.研究方法

1. 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等HIV検査相談施設で実施されている常設検査の情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、HIV/エイズに関する基礎知識等について、ウェブサイト「HIV検査・相談

マップ」(PCサイト、スマートフォンサイト、携帯電話サイト)に掲載し、情報提供を行った。PCサイトは2001年9月、携帯電話サイトは2003年4月に開設し、2009年10月にはPCサイトおよび携帯電話サイトのリニューアルを行った。2013年はスマートフォンサイトを開設し、2019年6月にはPCサイトとスマートフォンサイトについてトップページ操作性向上のためのレイアウト調整を行った。2021年3月にはサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム(CMS)の変更および新規デザインの作成を行い、レスポンス対応のリニューアルサイトを公開するとともに、携帯電話サイトの運用を終了した。

定期更新作業としては、2022年3月に新年度の検査日程等の情報確認のため、自治体156箇所および医療機関46箇所に新年度情報確認依頼文書を送付し、3月中旬から修正作業を順次実施した。また通年の作業として、検査施設の新規掲載、掲載情報修正および検査イベント情報の掲載等を行った。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体HIV検査の実施状況調査

2020年1月に新型コロナウイルスの国内初感染事例の報告があり、感染拡大により2020年4月に緊急事態宣言が発令された。2021年に入ってから流行が継続し、保健所業務の増加に伴い保健所・特設検査施設のHIV検査の中止が相次いだことから、当サイトの掲載情報を修正する必要が生じた。サイト上に自治体HIV検査を受検する際の注意事項をポップアップで表示させるとともに、インターネット上で全国自治体サイトのHIV検査情報を閲覧調査し、随時情報修正作業を行った。また、検査中止または縮小の措置を行った自治体やHIV検査施設の調査を行った。

3. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

本サイトのアクセス解析には「Google Analytics」および「検索順位ツールGRC」を用いて、①サイトアクセス数（年別、月別、日別）、②情報端末別アクセス数、③新規・リピーター割合、④チャンネル別アクセス割合、⑤検索エンジン（Google）での検索クエリ別順位、⑥参照元からのアクセス数、⑦サイトコンテンツのページビュー数、⑧アクセス地域およびアクセス言語、⑨外国語ページのページビュー数を調査し、利用者の動向およびHIV/エイズ関連報道によるアクセス数の影響等を解析した。

4. サイト活用状況の解析 - アンケート調査 -

HIV検査・相談体制に関する調査（研究分担者 土屋菜歩先生）において、保健所および特設検査施設のHIV検査担当者に対し、当サイトの利用状況やHIV検査相談事業への活用等に関するアンケート調査を実施した。

C. 研究結果

1. 新規情報掲載、情報修正作業の状況

2021年は保健所等HIV検査相談施設657箇所での検査情報の掲載を行い、検査イベント情報依頼69件、情報修正依頼351件の更新作業を行った（図1）。2021年3月末にサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム（CMS）の変更および新規デザインの作成を行い、リニューアルサイトを公開した（図2）。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体HIV検査の実施状況調査

新型コロナウイルス感染症拡大による保健所業務の増加に伴い、保健所・特設検査施設のHIV検査の中止が相次いだことから、2020年4月よりサイト上に自治体HIV検査を受検する際の注意事項をポップアップで表示し、2022年3月時点でも注意喚起を継続している（図3）。また、当サイトの掲載情報を随時修正するために、インターネットで公開されている全国自治体サイトのHIV検査情報を閲覧調査した。その結果、2021年でHIV検査を中止または縮小した自治体の割合は3月末時点で38%、5月末時点で42%、9月末時点で55%、12月末時点で32%であり、HIV検査施設での割合は3月末時点で16%、5月末時点で22%、9月末時点で29%、12月末時点で12%であった（図4-7）。東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、1都3県および東海ブロックでは、第3回緊急事態宣言中の2021年9月末時点において自治体の約7割、HIV検査施設の約6割で検査中止または縮小の措置を取っており、第1回緊急事態宣言中の2020年5月末の中止・縮小割合に次いで高かった。一方、近畿ブロックでは、2020年5月末での中止割合は自治体の約7割、HIV検査施設の4割であったが、2021年9月末では自治体の約4割、HIV

検査施設の約2割であった。

3. サイト利用状況の調査 — Web 解析 —

PC サイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイトでの 2001 年からの合計アクセス数は約 2,550 万件となった (図 8)。2021 年の年間サイトアクセス数は 104 万件であり、前年と比較して 29%減となった。情報端末別にみると、スマートフォンからのアクセス数が 89 万件であり、総アクセス数の 85%を占めた (図 9)。2021 年 1~12 月の月別アクセス数は、過去 6 年間の同月をすべて下回り、横ばいに推移した (図 10)。日別アクセス数では、HIV 検査普及週間の期間中である 6 月 4 日に 9,929 件、性の健康週間の政府広告に「これって、性感染症」ページがリンクされた 11 月 23~29 日に一日あたり 7,000 件前後のアクセス数が見られた (図 11)。訪問者別割合は、新規訪問者が 90%、リピーターが 10%であった (図 12)。チャネル別のアクセス割合では、検索エンジンからのアクセスが 82%、直接アクセスが 14%、他サイトからのアクセスが 3%、SNS からのアクセスが 0.7%であった (図 13)。

検索エンジン (Google) における検索クエリ別の月別検索順位をみたところ、「HIV」では 1~6 位、「エイズ」では 1~10 位、「AIDS」では 3~18 位の間で推移していた (図 14)。「HIV」、「エイズ」、「AIDS」と「検査」の用語の組み合わせ、また、「HIV」、「AIDS」と「test」の用語の組み合わせでは 1~3 位に表示された。「性感染症」では、7~11 位の間で推移していた。「梅毒」では 30 位以降の表示となっていた。

検索エンジン (Google) での検索に用いられたクエリ別の順位を 10 位まで調査したところ、2021 年に検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「性病 症状」であり、以下、「エイズ」、「HIV 検査」、「HIV」、

「エイズとは」と続いた。これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.9~4.9 であった (図 15)。また、10 位以内の検索用語の平均掲載順位も 1.9~4.9 であった。「梅毒」の用語検索順位は、2018 年は 1 位、2019 年は 3 位、2020 年は 10 位であったが、2021 年では 50 位圏外であった。

参照元からのアクセス数を見たところ、Google 検索からが最も多く約 53 万件、Yahoo! JAPAN 検索からが約 16 万件、直接アクセスが約 12 万件であったが、Twitter リンクや YouTube からのアクセスも見られた (図 16)。

サイトコンテンツのページビュー数を見ると、ページ閲覧数は 1,888,904 件で、一番よくみられたページは「これって、性感染症？」で約 30 万ページビュー、2 位が「HIV・エイズって何？」ページで約 21 万ページビューであった (図 17)。

検査・相談施設別ページビュー数では、「東京都新宿東口検査・相談室」が最も多く、次いで「chot CAST (大阪検査相談・啓発・支援センター)」、「神戸市保健所」、「名古屋市保健所中保健センター」、「札幌市中央保健センター」となった (図 18)。

当サイトへのアクセス地域は、日本からが 84 万人、米国 2,656 人、中国 1,974 人、インドネシアが 1,286 人であった (図 19)。アクセス言語では、日本語が 82 万人、英語が 21,733 人、中国語が 4,291 人であった。外国語ページ (英語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、韓国語、中国語およびやさしい日本語) のページビュー数は、英語ページが 5,307 件、やさしい日本語が 3,605 件、ベトナム語 1,384 件、中国語 816 件であった (図 20)。

4. サイト活用状況の解析 — アンケート調査 —

全国保健所および特設検査施設に対して実施した HIV 検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への貢献度に関する質問を HIV/エイズ対策担当者に質問した。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所 87%、特設検査施設 93% (図 21)、「新型コロナウイルス感染症により HIV 検査日程が変更・中止になった際に当サイトに修正依頼を送ったか」の設問では、「はい」の回答は保健所 20%、特設検査施設 57% (図 22)、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」の回答は保健所 66%、特設検査施設 93%であった (図 23)。

D. 考察

2021 年のサイトアクセス数は 104 万件であり、前年と比較して 29%減となった。その要因としては、2020 年 1 月以降の新型コロナウイルス感染症の流行が 2021 年も継続しており、2 度の緊急事態宣言が発令されたことから、報道内容が新型コロナウイルス感染症関連のニュースで占められ、国民の HIV/エイズへの関心が低下したことが考えられた。また、2021 年 3 月にサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム (CMS) 変更および新規デザインの作成を行い、レスポンス対応のリニューアルサイトを公開したが、検索エンジンでの表示順位が以前のサイトよりも低下傾向にあり、その原因については今後調査していく必要がある。

新型コロナウイルス感染症対応による保健所業務により保健所等 HIV 検査の中止・縮小が相次ぎ、第 3 回緊急事態宣言中の 2021 年 9 月末時点で保健所等 HIV 検査の中止・縮小していた自治体は 55%、HIV 検査施設は 29%であり、第 1 回緊急事態宣言中の 2020 年 5 月末の中止・縮小割

合に次いで高い傾向にあった。特に首都圏 1 都 3 県と東海ブロックにおいては 2021 年 9 月末の時点で自治体の約 7 割、HIV 検査施設の約 6 割が中止・縮小の措置を取っていた。一方、近畿ブロックでは、2020 年 5 月末時点で自治体の約 7 割、HIV 検査施設の 4 割であったが、2021 年 9 月末では自治体の約 4 割、HIV 検査施設の約 2 割と低く抑えられていた。エイズ動向委員会報告の全国保健所等の HIV 抗体検査件数は、2021 年 1~6 月は 2020 年 1~6 月と比較して 43%の減少であったが、地域ブロック別に見ると、東海ブロックは 56%の減少であるのに対し、近畿ブロックでは 30%の減少に留まっており、中止・縮小割合が低かったことが要因と思われた (図 24)。

情報端末別アクセス数では、スマートフォンからのアクセス数が 89 万件と総アクセス数の 85%を占めており、スマートフォンでの表示を主としたサイト構成が重要と思われた。

チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジンからのアクセスが 82%、直接アクセスが 14%、他サイトからのアクセスが 3%、SNS からのアクセスが 0.7%であり、直接アクセスは前年度の 9.5%よりも増加していたが、SNS からのアクセス割合は前年同様に少ないことが分かった。新サイトでは当サイト情報を SNS で共有してもらいやすいよう、シェアボタンの配置などに配慮したが、ポストコロナ以降に向けてその動向に注視したい。

検索エンジン (Google) での検索クエリ別の順位を 10 位まで調査したところ、今年度、検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「性病 症状」であり、以下、「エイズ」、「HIV 検査」、「HIV」、「エイズとは」であり、これら用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.9~4.9 であった。サイトコンテン

ツのページビュー数は「これって性感染症?」、
「HIV・エイズって何?」、「トップページ」の順
となり、2021年は梅毒感染者数が増加に転じて
梅毒報道が多くなり、また、政府広告にもリンク
されたことから、性感染症情報ページ閲覧数が
増加したと思われた。「梅毒」の用語検索順位は、
2018年は1位、2019年は3位、2020年は10
位、2021年は50位圏外となった。2021年2月
に「梅毒って、なに?」ページを公開したが、3
月に新サイトに移行した影響もあると考えられ
ることから、その原因について調査していきたい。

参照元からのアクセス数は検索サイトからが
ほとんどを占めたが、Twitter のリンクや
YouTube からのアクセスも見られた。今後、SNS
からのリンク件数を増加させる方法を考えたい。

外国語ページは、2019年はやさしい日本語が
21,063件、英語ページ12,817件、ベトナム語
2,389件、中国語2,367件、2020年では、やさ
しい日本語13,417件、英語ページ8,114年、ベ
トナム語1,816件、中国語1,504件、2021年
では、英語ページ5,307年、やさしい日本語3,605
件、ベトナム語1,384件、中国語816件、と年々
減少していた。また、当サイトへのアクセス地域
も2019年は米国7,557人であったが、2020年
は3,503人、2021年は2,656人と減少しており、
新型コロナウイルスによる渡航中止等の影響が
大きいと思われた。

保健所等へのHIV検査相談に関するアンケート
調査では、当サイトを閲覧したことがある担
当者は保健所で87%、特設検査施設で93%、新
型コロナウイルス感染症によるHIV検査日程の
変更・中止について当サイトに修正依頼をした
担当者は保健所で20%、特設検査施設で57%、
当サイトがHIV検査相談事業に役立っていると
回答した担当者は保健所で66%、特設検査施設

で93%であった。保健所担当者は当サイトを閲
覧したことはあるが、新型コロナウイルス感染
症業務の増加によりHIV検査中止等の連絡まで
は手が回らなかったと思われた。このため、運営
側が自主的に自治体HIV関連サイト等でHIV
検査情報を収集し、修正作業を行う必要性が示
唆された。

当サイトはHIV検査研究班の公式サイトとし
て2001年に開設し、2021年末までに約2,550
万件のアクセスがあった。全国の保健所等HIV
検査相談施設の情報を提供するとともに、HIV/
エイズ情報提供ページとしても機能している。
また、当サイトは自治体のHIV/エイズ情報媒体、
日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パ
ンフレット等、多方面で紹介され、行政的にも有
効活用されている。今後も正確で最新のHIV検
査情報を提供していくとともに、更なるHIV/
エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与
していきたい。

E. 結論

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」
(<https://www.hivkensa.com>)を運営し、保健所
等HIV検査相談施設の最新情報やHIV検査に
関する基礎知識等の情報を継続的に提供した。
また、アクセス解析から、利用状況や閲覧ページ
の動向等を調査した。今年度は新型コロナウイ
ルス感染症の流行による保健所等HIV検査中止
等の実施状況調査を行った。

2021年のサイト訪問数は、約104万件であり、
前年と比較して29%減となった。その要因とし
ては、2020年1月以降の新型コロナウイルス感
染症の流行が2021年も継続し、2度の緊急事態
宣言が発令されたことから、報道が新型コロナ
ウイルス感染症関連のニュースで占められ、国
民のHIV/エイズへの関心が低下したことが考え

られた。また、新型コロナウイルス感染症対応による保健所業務により保健所等 HIV 検査の中止・縮小が相次ぎ、特に首都圏 1 都 3 県と東海ブロックにおいては、2021 年 9 月末の時点で自治体の約 7 割、HIV 検査施設の約 6 割が中止・縮小の措置を取っていた。一方、近畿ブロックでは自治体の約 4 割、HIV 検査施設の約 2 割と低い傾向にあり、HIV 抗体検査件数の減少割合も抑えられていた。

保健所等アンケート調査結果から、保健所 HIV 担当者は当サイトを見たことはあるが、新型コロナウイルス感染症対応により HIV 検査中止等の連絡までは手が回らなかったことが分かった。このため、運営側が自主的に情報を収集し、修正作業を行う必要性が示唆された。

(サイト URL・掲載情報転載依頼)

1. (株)エイデル研究所、単行本『アイはあるの?』に当サイト URL を掲載
2. (株)東北新社/スターチャンネル、海外ドラマ『IT'S A SIN 哀しみの天使たち』で当サイト URL を紹介
3. (株)東山書房、教科書『新版学校看護』に「HIV 検査まめ知識 3. HIV 検査のウィンドウ期とは? <HIV 感染とウイルスマーカー>」の図を掲載
4. (株)メディアート、パンフレット『マンガで学ぶ HIV/エイズ』(制作:塩野義製薬株式会社)において「HIV・エイズって何?」を引用
5. ギリアドサイエンシズ(株)、ウェブサイト『Treat Yourself』において「これって、性感染症?」を引用
6. 厚生労働省結核感染症課、政府広告において「これって、性感染症?」ページをリンク
7. 早稲田大学ジェンダー研究所、冊子『性的同意ハンドブック』で当サイト URL を紹介

8. NPO 法人ピルコン、性の健康・リレーションシップ教育講座の教材およびウェブサイトでご当サイト URL を紹介
9. NPO 法人ふるすあるは、アプリ『おたすけことてん』およびウェブサイトでご当サイト URL を紹介
10. 公益財団法人よこはまユース、横浜市作成の青少年の課題に関する広報・啓発のポータルサイトで当サイト URL を紹介

F.健康危険情報

なし

G.研究発表

1. 論文発表

- 1) 佐野貴子、近藤真規子、櫻木淳一、中澤よう子. 神奈川県および全国の HIV 検査動向と COVID-19 パンデミックの影響について. 病原微生物検出情報、42、10、217-218、2021

2. 学会発表

- 1) 佐野貴子、近藤真規子、土屋菜歩、井戸田一朗、堅多敦子、須藤弘二、星野慎二、清水茂徳、生島嗣、岩橋恒太、今井光信、加藤真吾、市川誠一、白阪琢磨、櫻木淳一、今村顕史. COVID-19 流行下におけるウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」のサイト利用状況と公的 HIV 検査縮小による影響. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月 21-23 日、東京.
- 2) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤真吾. HIV 郵送検査に関する実態調査(2020). 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11

- 月 21-23 日、東京.
- 3) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、城所敏英、関なおみ、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月 21-23 日、東京.
 - 4) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、城所敏英、関なおみ、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月 21-23 日、東京.
 - 5) 近藤真規子、佐野貴子、須藤弘二、井戸田一朗、土屋菜歩、貞升健志、今井光信、加藤眞吾、櫻木淳一、中澤よう子、今村顕史. 新型コロナウイルス感染症流行禍における HIV 検査体制の実態. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月 21-23 日、東京.

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

図1

サイト掲載の施設情報、検査イベント情報、 情報修正依頼件数

掲載・修正依頼	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
施設情報	657	650	647	652	657
検査イベント情報	168	149	145	46	69
情報修正依頼	363	403	420	344	351

図3 サイト閲覧時に保健所等HIV検査中止に係わる
注意喚起文をポップアップで表示

(2020年4月-2022年3月現在継続中)

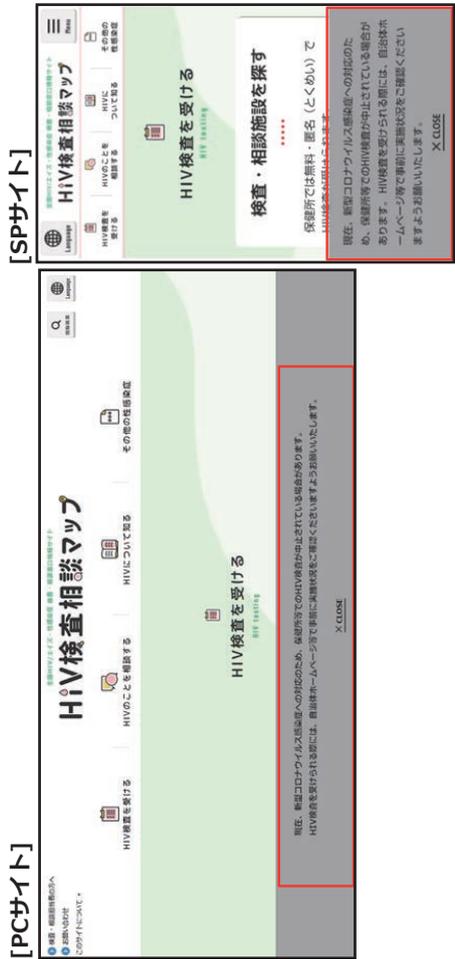


図2 サイトCMSおよびデザイナーリニューアル(2021年3月)

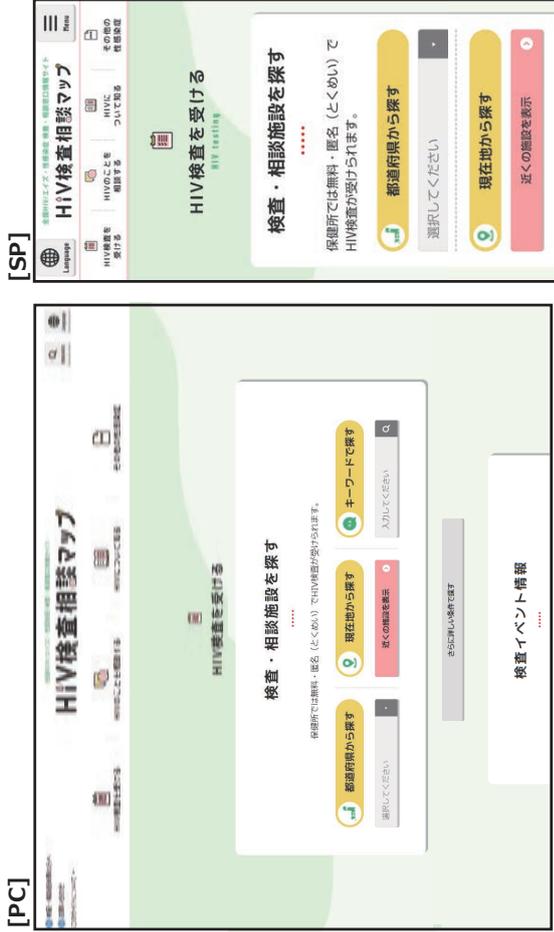


図4 地域ブロック別の中止・縮小割合(自治体数)

地域ブロック	掲載自治体数	2020年			2021年			
		3月末時点	5月末時点	9月末時点	3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点
北海道	5	0%	60%	40%	60%	20%	40%	0%
東北	15	0%	27%	20%	20%	53%	60%	40%
関東甲信越 (うち1都3県)	55 (42)	31% (33%)	76% (91%)	49% (52%)	46% (52%)	50% (55%)	73% (74%)	43% (43%)
北陸	6	0%	33%	33%	17%	17%	33%	17%
東海	12	42%	92%	67%	54%	54%	77%	38%
近畿	24	17%	67%	33%	17%	21%	38%	21%
中国/四国	19	5%	42%	32%	21%	26%	32%	16%
九州/沖縄	18	33%	61%	50%	33%	17%	44%	33%
総計	154	21%	61%	42%	38%	42%	55%	32%

図5 地域ブロック別の中止・縮小割合（自治体数）

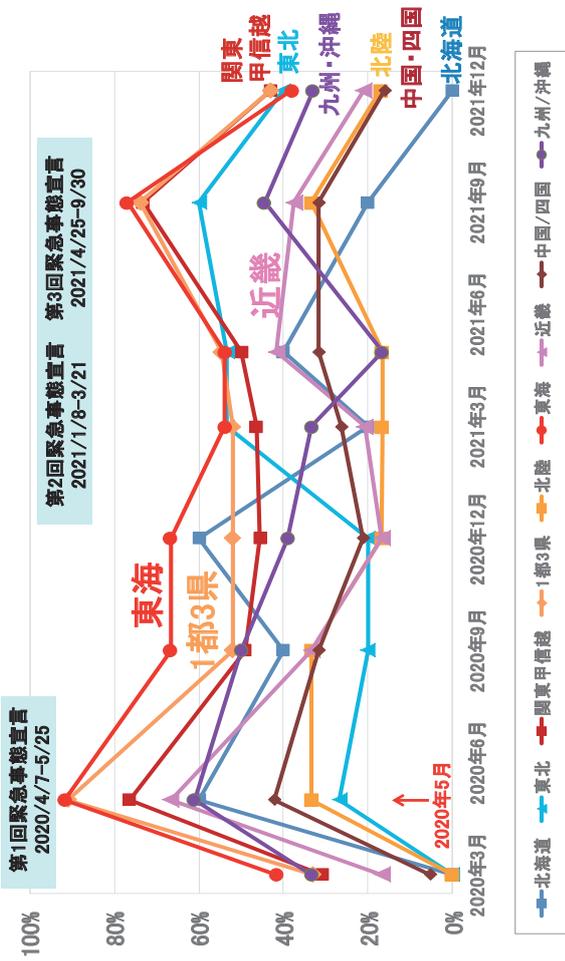


図6 地域ブロック別の中止・縮小割合（施設数）

地域ブロック	掲載自治体数	2020年				2021年			
		3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点	3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点
北海道	40	0%	30%	30%	0%	3%	30%	5%	0%
東北	61	0%	12%	10%	13%	29%	26%	27%	19%
関東甲信越 (うち1都3県)	179 (113)	11%	44%	26%	22%	23%	25%	46%	20%
北陸	22	0%	9%	9%	5%	5%	5%	9%	5%
東海	58	10%	55%	38%	38%	12%	46%	61%	8%
近畿	82	7%	40%	13%	5%	10%	16%	15%	10%
中国・四国	79	1%	20%	13%	14%	9%	19%	11%	8%
九州・沖縄	87	12%	29%	20%	21%	13%	8%	15%	7%
総計	608	7%	33%	21%	19%	16%	22%	29%	12%

図7 地域ブロック別の中止・縮小割合（施設数）

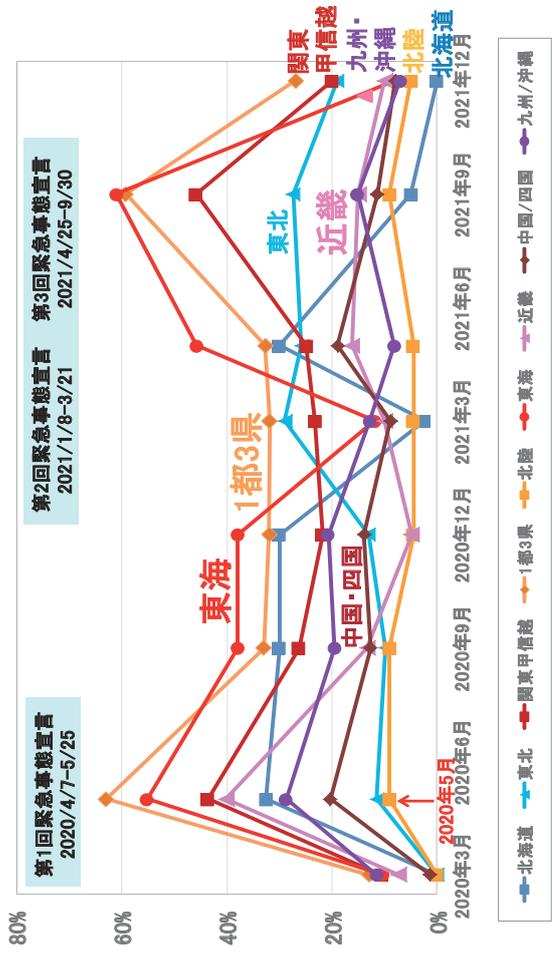


図8 サイトアクセス数（2001年-2021年）

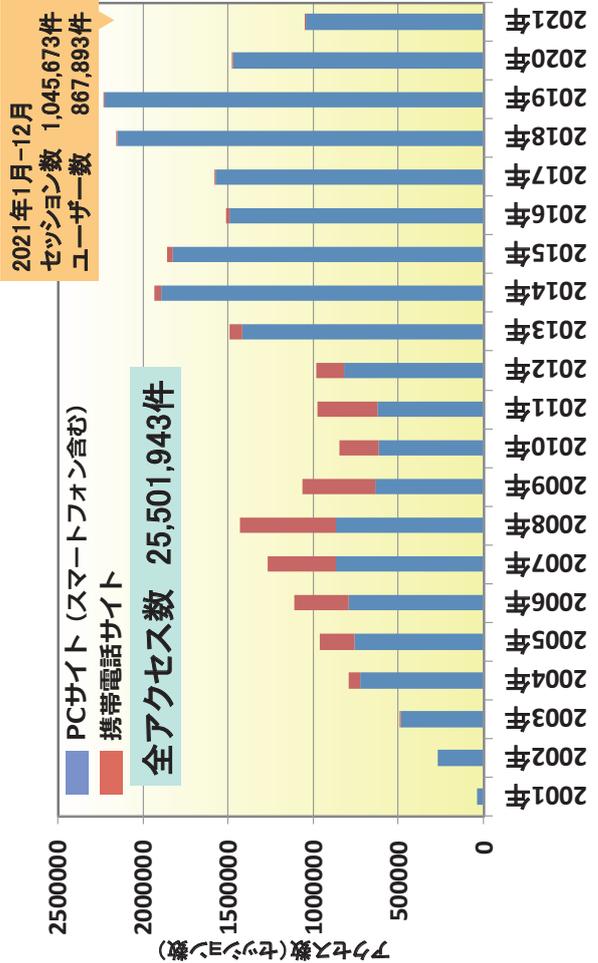


図9

情報端末別アクセス数の推移 (2010年-2021年)

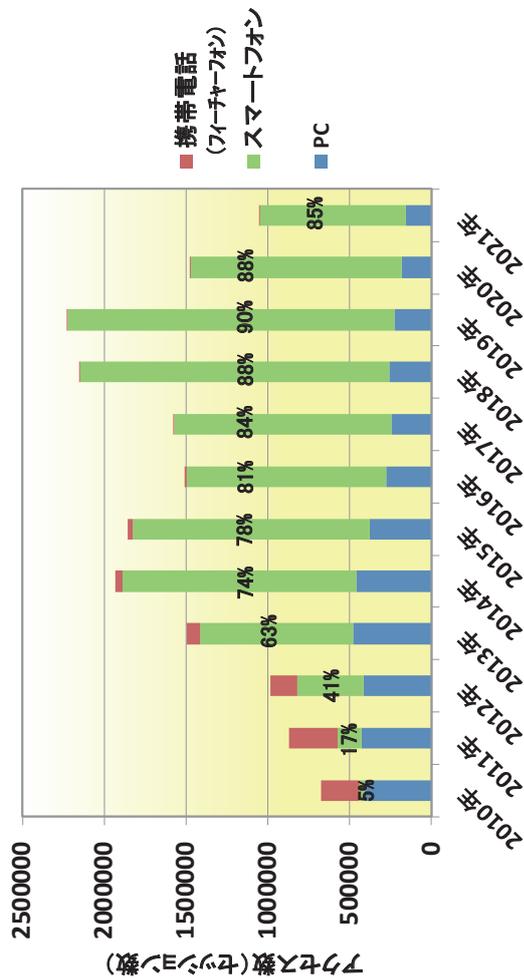


図10

月別アクセス数の推移 (2015年-2021年)

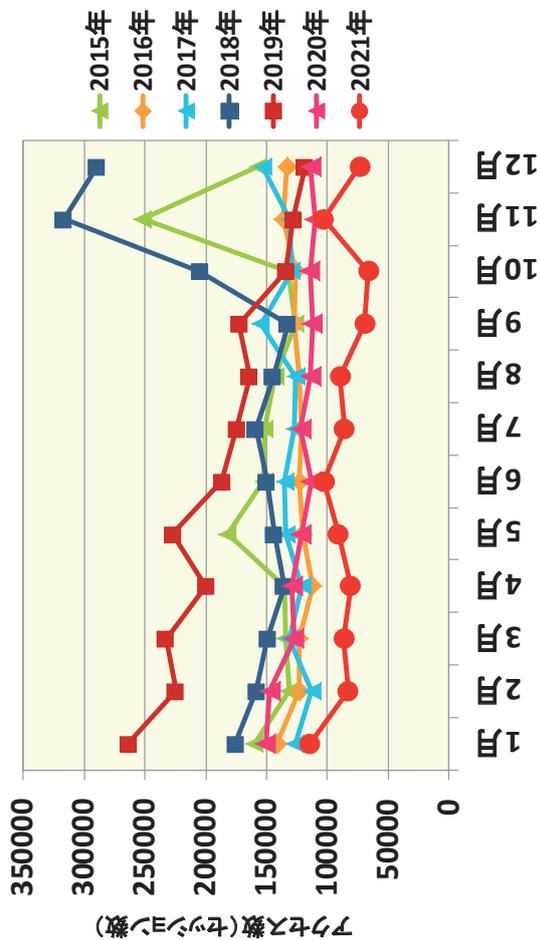


図11

日別アクセス数 (2020年-2021年)

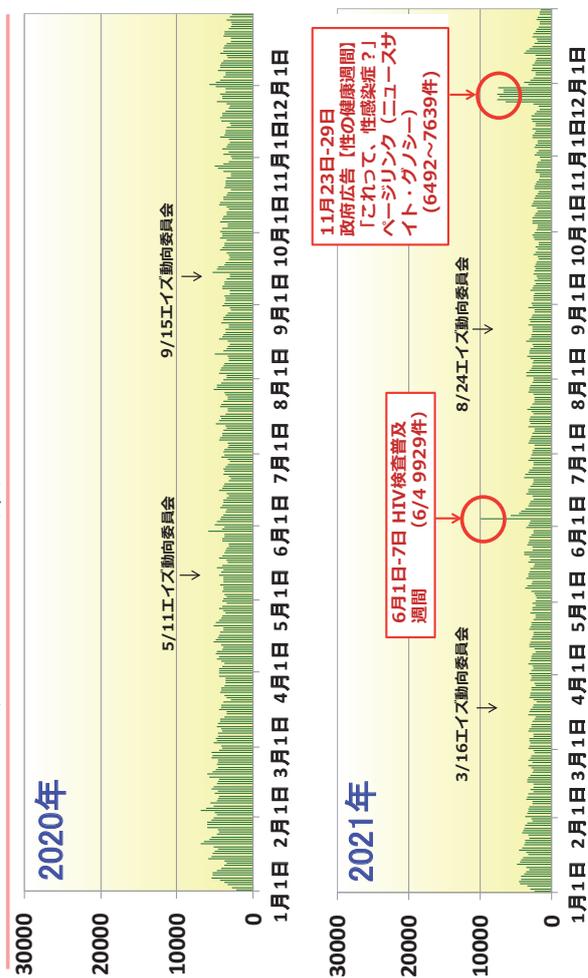


図12

訪問者別 (新規・リピーター) 割合 (2015年-2021年)

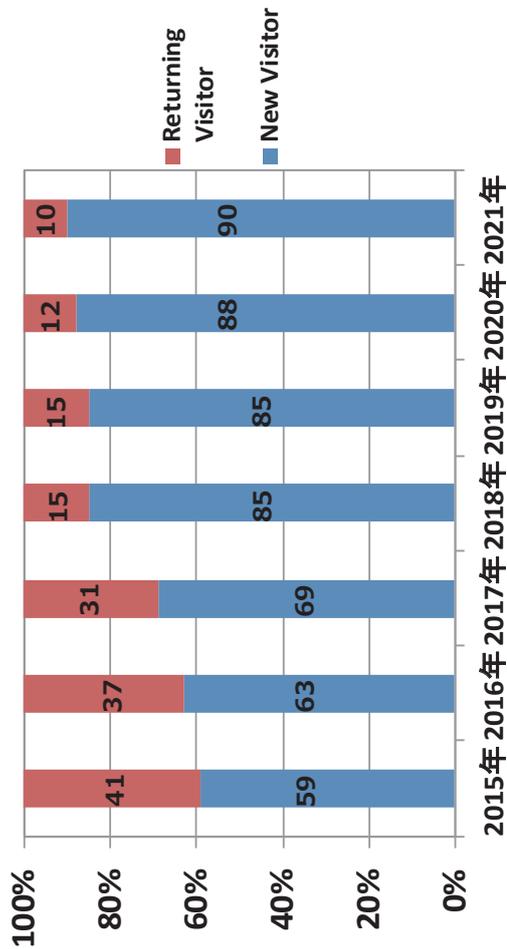


図13

チャネル別アクセス割合 (2021年)

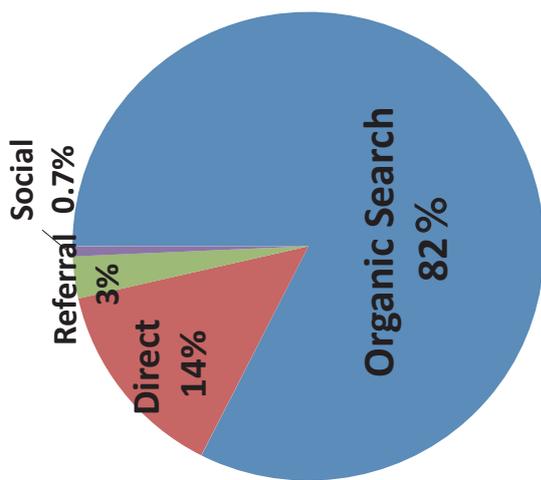


図14 検索エンジン 検索クエリ別月別検索順位 (Google)

検索クエリ	Google件数 (2022年1月)	2021年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HIV	2,000,000,000	1	1	1	3	2	2	4	4	4	6	5	5
エイズ	6,580,000	2	2	1	3	2	2	3	4	5	7	7	10
AIDS	2,000,000,000	3	8	7	11	6	7	11	13	15	18	16	17
HIV 検査	3,470,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ 検査	2,960,000	2	2	2	3	2	2	2	2	1	2	1	1
AIDS 検査	789,000	1	2	1	2	2	2	2	1	2	1	1	1
HIV test	974,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
AIDS test	2,000,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1
梅毒	12,400,000	46	49	30	49	31	30	37	36	31	34	39	38
梅毒 検査	2,520,000	6	8	27	22	8	15	10	11	16	18	16	25
性感染症	1,540,000,000	10	10	11	10	10	9	7	7	9	9	8	9

(PC版 検索順位ツールGRCで解析)

図15

検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google)

(2021年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載 順位
1	性病 症状	22,593	4.7
2	エイズ	20,859	4.9
3	hiv 検査	18,109	1.9
4	hiv	17,725	4.3
5	エイズとは	14,893	3.8
6	hivとは	9,754	3.6
7	エイズ検査	6,509	2.0
8	hiv 感染率	5,542	2.3
9	エイズ 感染率	4,145	2.1
10	エイズ 初期症状 女性	3,652	2.1

図16

参照元からのアクセス数 (2021年)

参照元	セッション数
1 Google 検索	531,618
2 Yahoo! JAPAN 検索	164,567
3 Direct access	120,668
4 ドコモ 検索	9,824
5 bing 検索	9,511
6 Twitter リンク	4,395
7 au 検索	2,031
8 厚生労働省	1,504
9 千葉市	1,392
10 HIVマップ	1,274
11 YouTube	1,052
12 東京都新宿区東口検査・相談室	1,019

図17

サイトコンテンツのページビュー数(2021年)

ページビュー全体 1,888,904件

サイトコンテンツ		ページビュー数
1	これって、性感染症？	304,973
2	HIV・エイズって何？	207,815
3	トップページ	185,332
4	検査・相談所検索	60,817
5	HIV検査まとめ知識	38,642
6	HIV検査Q&A	29,504
7	東京都検索結果一覧	28,976
8	全国検索結果一覧	18,455
9	電話相談窓口	18,176
10	検査イベント情報	11,848

図18 検査・相談施設別ページビュー数(2021年4月-12月)

検査・相談施設		アクセス数
1	東京都新宿真口検査・相談室	11,226
2	choTCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	9,053
3	神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	4,435
4	名古屋市保健所中保健センター	4,028
5	札幌市中央保健センター	3,395
6	福岡市博多区保健福祉センター	3,340
7	大阪市中央区保健福祉センター	3,020
8	さいたま市HIV即日検査	2,891
9	船橋市保健所	2,850
10	福岡市中央区保健福祉センター	2,732
11	加古川健康福祉事務所(加古川保健所)	2,694
12	千代田区千代田保健所	2,593
13	京都市(昼間検査・夜間検査)(一般財団法人京都工場保健会)	2,386
14	山口県山口健康福祉センター(山口環境保健所)	2,340
15	神奈川県HIV即日検査センター 休日検査	2,291

図19

アクセス地域およびアクセス言語(2021年)

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	838,984	日本語	692,561
United States	2,656	日本語(日本)	129,390
China	1,974	英語(米国)	18,234
Indonesia	1,286	中国語(簡体)	4,291
South Korea	677	英語(英国)	2,758
Thailand	620	韓国語	1,255
Singapore	462	ベトナム語	1,133
Vietnam	343	英語(オーストラリア)	741
Taiwan	333	ポルトガル語	574
Hong Kong	307	中国語(繁体)	490

図20

外国語ページのページビュー数(2021年)

言語	ページビュー数
英語	5,307
スペイン語	231
タイ語	291
タガログ語	150
ベトナム語	1,384
ポルトガル語	391
韓国語	58
中国語	816
やさしい日本語	3,605

図21

(2021年)

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」を
ご覧になったことはありますか？

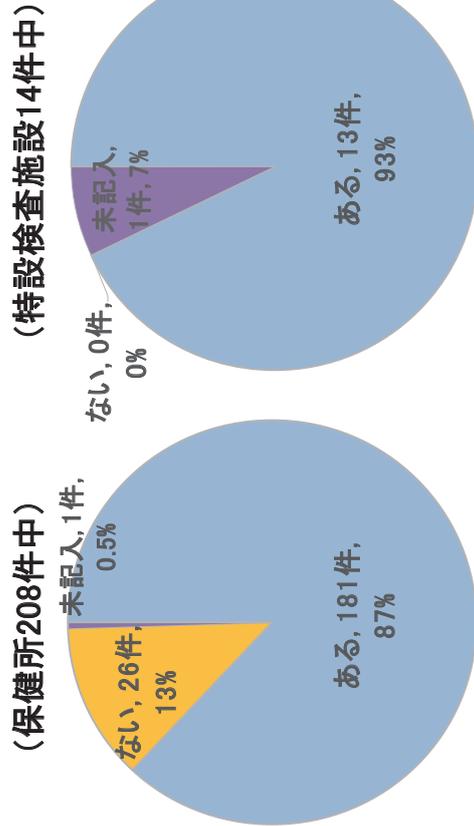


図22

(2021年)

COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止に
なった際に当サイトに修正依頼を送りましたか？

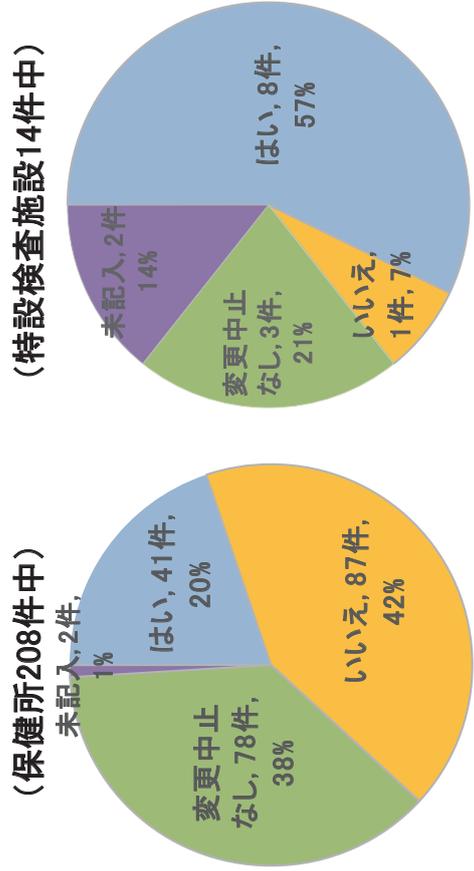


図23

(2021年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に
役立っていると思いますか？

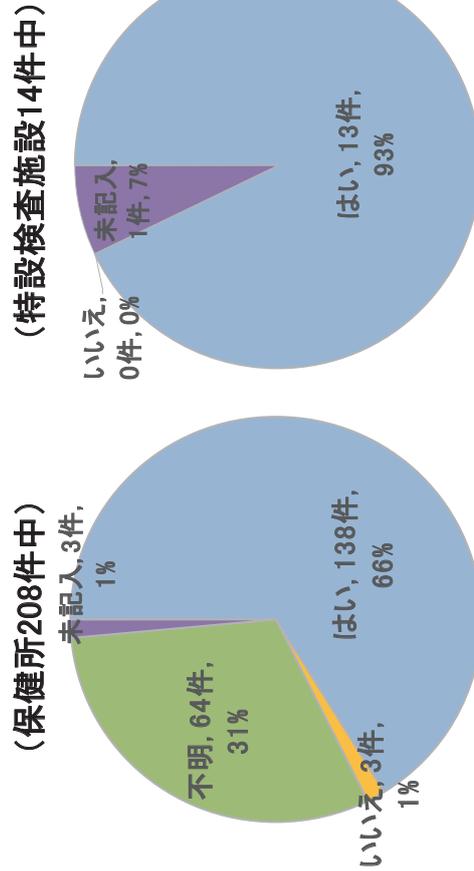
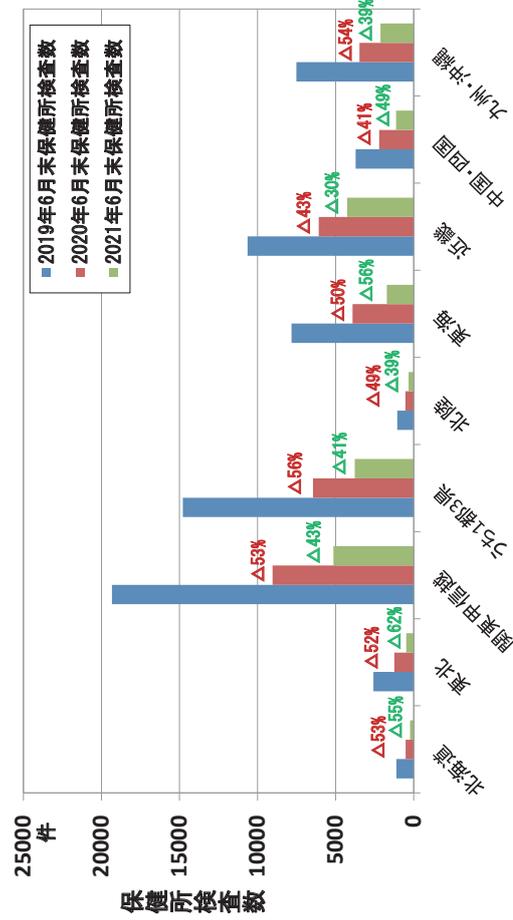


図24

地域ブロック別の保健所HIV検査数の推移
(2019年1-6月、2020年1-6月、2021年1-6月)



(エイズ動向委員会報告資料より作成)